

《担当者名》 遠藤輝夫

【概要】

分析技術・機器のめざましい進歩にともない、多くの先進的な技術が研究所や臨床検査に導入されてきている。これに伴い遺伝子分析科学認定士や医用質量分析認定士など様々な先端医療に対応できる資格制度も設けられるようになった。本講義では、1) 培養した細胞に目的の蛋白を作る遺伝子を導入した後、目的の蛋白を精製するまでの一連の過程、2) 質量分析装置、3) 次世代シーケンサーなどの新たに導入された、もしくはされるであろう先進技術についての知識と技術を学習する。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。